

学校名	小平市立小平第六小学校	実施年月日	平成17年1月26日
指導者	加藤 豊	授業コード	G-新規
学年	4年	教科	理科
単元名	もののあたたまり方		
単元の目標	<p>金属は熱せられた部分から順にあたたまることとらえることができるようにする。</p> <p>水や空気は、熱せられた部分が上に移動して全体があたたまることと、金属のあたたまり方と比較しながらとらえることができるようにする。</p>		
単元の指導計画	<p>単元導入 もののあたたまり方</p> <p>第1時 絵や写真をもとに、経験したことについて、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質の違う容器に湯を入れ、その容器のあたたまり方の違いを体感する。</li> </ul> <p>第1次 金ぞくのあたたまり方。</p> <p>第1時 ろうなどの変化から金属棒のあたたまり方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果からわかったことをまとめる。</li> </ul> <p>第2時 ろうなどの変化の様子から、金属板のあたたまり方を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切り込みのある金属板も調べる。</li> <li>・実験結果からわかったことをまとめる。</li> </ul> <p>第2次 水や空気のあたたまり方。</p> <p>第1時 水やくきのあたたまり方を調べる実験を行う。</p> <p>第2時 温度の違いにより水全体があたまる様子をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料「熱気球」を読み、あたたかい空気の性質を利用していることについて考える。</li> </ul> <p>第3次 「もののあたたまり方」で学習したことをまとめる。</p> <p>第1時 デジタルコンテンツを活用し、金属、水、空気のあたたまり方についてまとめる。</p> <p style="text-align: right;">・・・本時</p>		
本時のねらい	<p>金属と、水や空気のあたたまり方ではちがいがあつたことをまとめることができるようにする。</p>		

#### 本時の学習活動の展開

導入	<p>【1】 学習のめあてを知る。</p> <p>金属・水・空気のあたたまり方についてまとめる。</p>
展開	<p>【2】 金属棒のあたたまり方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ「学校放送オンライン：びっくりか」を活用し、金属棒のあたたまり方について理解を深める。</li> </ul> <p>【3】 金属板のあたたまり方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ「学校放送オンライン：びっくりか」を活用し、金属板のあたたまり方について理解を深める。</li> </ul> <p>【4】 水のあたたまり方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ「学校放送オンライン：びっくりか」を活用し、水のあたたまり方について理解を深める。</li> </ul> <p>【5】 空気のあたたまり方についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ「学校放送オンライン：びっくりか」を活用し、空気のあたたまり方について理解を深める。</li> </ul>
まとめ	<p>【6】 「ものあたたまり方」で学習したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金属、水、空気のあたたまり方についてプリントにまとめる。</li> </ul>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>金属のあたたまり方や、水・空気のあたたまり方については、実験を通して確認を終えている。本時ではそのまとめとして、デジタルコンテンツを活用し、金属や水・空気のあたたまり方を動画で復習する。実験で自分の目で確かめたことを、もう一度動画で振り返ることで、より理解が深まるものと思われる。</p>

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。